

住之江公園駅

90分
コース

Osaka Metro まちさんぽ

四つ橋線・ニュートラム 住之江公園駅

加賀屋の新田

加賀屋4代にわたる新田開発の心意気

かつてこのあたりは大坂湾の海でした。宝永元年(1704)に大和川が付け替えられたことで、河口の砂洲を埋め立てて新田が開発されました。開発の中心を担ったのが両替商・加賀屋甚兵衛。明治維新まで加賀屋4代にわたり広大な開発を継続し、その拠点とした新田会所は今も姿をとどめています。

ニュートラム
住之江公園駅

四つ橋線
住之江公園駅

新なにわ筋

住之江通

大和川通

阪堺大橋

大和川

住吉商業高校

地藏



スタート駅

住之江公園駅
①号出口
ニュートラム
四つ橋線

1

・大阪護国神社
住之江公園

2

・加賀屋緑地
加賀屋新田会所跡

3

高崎神社

4

高砂神社

5

祐貞寺

6

大和川の付け替え

ゴール駅

住之江公園駅
ニュートラム
四つ橋線

大坂における町民による土地開発面積は、今日の大坂地域のほぼ3分の1にあたりとされています。そのなかでも西大坂最大の開発が加賀屋新田。その会所は江戸中期に加賀屋が財を借しまず建てた屋敷・庭園で、いま、加賀屋緑地として継承されています。

新型コロナウイルス
感染拡大防止のために

●体調が優れない場合のご参加はお控えください。 ●マスク着用の上、他の方と2m程度距離を空けてご参加ください。
●混んでいる時間帯を避け、会話を控えめにしてお楽しみください。

住之江公園駅
90分
コース

Osaka Metro まちさんぽ

四つ橋線・ニュートラム 住之江公園駅

加賀屋の新田

加賀屋4代にわたる新田開発の心意気

かつてこのあたりは大坂湾の海でした。宝永元年(1704)に大和川が付け替えられたことで、河口の砂洲を埋め立てて新田が開発されました。開発の中心を担ったのが両替商・加賀屋甚兵衛。明治維新まで加賀屋4代にわたり広大な開発を継続し、その拠点とした新田会所は今も姿をとどめています。

スタート駅

約 90分

ゴール駅

四つ橋線・ニュートラム住之江公園駅①号出口

四つ橋線・ニュートラム住之江公園駅

1 住之江公園・大阪護国神社

道路建設で縮小された住吉公園を補完するために大阪府が設置した総合公園です。緑地ゾーン、大池のほかプールや野球場、テニスコートなどがあります。西側にある大阪護国神社は大阪府下を中心とした戦没者などの英霊を祀るため、昭和15年(1940)に創建されました。



2 加賀屋新田会所跡・加賀屋緑地

加賀屋甚兵衛は大坂淡路町の両替商・加賀屋から暖簾分けを許された商人で、新大和川河口砂洲に23年の歳月をかけて北島新田を開発しました。さらに北方の砂洲に10年をかけて6町歩(6ha)あまりを開発し、宝暦4年(1754)の検地で加賀屋新田と名付けられました。その後も歴代の当主たちが開発を進め、幕末の天保14年(1843)には105町歩(104ha)の西大坂最大の新田になりました。大和川から木津川までの広大な土地は加賀屋一族が造成した土地です。新田会所屋敷は江戸中期に何度か改修され、四季の彩のある日本庭園や茶室など加賀屋の財力がうかがえる貴重な文化遺産になっています。



3 高崎神社

宝暦5年(1755)に初代加賀屋甚兵衛が大和川河口に天之水分神を祀ったのがはじまりで、その後3代目甚兵衛が新田開発に当たって高潮や洪水の被害に苦しみ、天照皇大神、柿本人丸(麻呂)大神を合祀して当地に社地を移転したと伝わっています。



4 高砂神社

元文2年(1737)、初代加賀屋甚兵衛が最初に北島新田の開発を手掛けたときに、出身地の河内国新堂村の産土神・天之水分神を勧請したのがはじまりとされ、砂洲の小高い砂丘に位置すること、「はや住之江につきにけり」の歌詞がある言祝ぎの謡曲『高砂』に因んで社名をつけたといわれています。その後、新しい社殿の造営や再建を行ったときに柿本人丸神、住吉大神を合祀しました。現在まで加賀屋新田地域の産土神として崇敬されています。



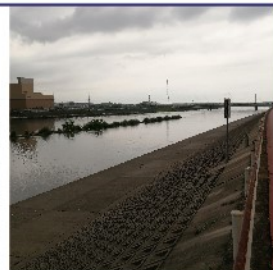
5 祐貞寺

加賀屋甚兵衛は新田開発を拡大する資金を調達するために、最初に開発した北島新田を堺の商人・小山屋久兵衛に譲渡しました。宝暦5年(1755)、久兵衛が北島新田の地に開基したのが祐貞寺です。浄土真宗本願寺派の寺院で、明治になって小学校の分教場が置かれ、歌人・与謝野鉄幹は少年時代14歳までこの小学校で学びました。



6 大和川の付け替え

かつて大和川の流れは河内平野に出るとすぐに北上していました。流域が低地であったために洪水被害が頻発し、河内国庄屋・中甚兵衛らは川の流れを堺の方向へ付け替える工事を幕府に嘆願しました。新川によって田畑が喪失する村の激しい反対がありましたが、幕府は数藩に命じて工事を決行しました。工事は川下の海側から始められ、延長約14km、川底を掘らずに堤防を盛り土する工法でわずか8カ月たらず、宝永元年(1704)現在の柏原市築留から西流する人工の川が完成しました。その新大和川の河口に堆積した土砂が加賀屋新田となって開発されたのです。



文中の「おおさか」表記には、一般呼称や明治以降については「大阪」、江戸時代以前については「大坂」を使っています。なお、掲載している情報は2022年5月時点のものです。内容は変更されている場合があります。

発行：Osaka Metro

協力：一般社団法人大阪あそ歩委員会 (お問い合わせ先)大阪あそ歩 info@osaka-asobo.jp

後援：歴史街道推進協議会

このコースや他のコースの〈ガイド付きまち歩き〉については、下記の「大阪あそ歩」のホームページをご覧ください。

<https://www.osaka-asobo.jp> または で検索

ご注意

※まち歩きには歩きやすい服装で、足下や車などの往来に十分注意し、事故のないように各自で責任をもって行動してください。

※プライバシーにかかわる場所での写真撮影や大声での談笑はご遠慮ください。

ご案内

※駅スタンプは駅長室付近に設置しています。参加記念にぜひ押印してください。

駅スタンプ押印欄

